

# 歯科衛生士校内模擬試験 B

—平成29年版出題基準対応版—

6

## 注意事項

- 指示があるまで開けないで下さい。
- 解答用紙A（マークシート）への記入は、HBの鉛筆をご使用下さい。なお、記入した印を訂正する場合は、消しゴムで鉛筆のあとが残らないように完全に消して下さい。
- 指示に従って、まず解答用紙Aに氏名、学校名、学校コードと受験番号を記入して下さい。さらに、学校コードおよび受験番号をマーク欄にマークして下さい。
- 解答方法は次のとおりです。

- ① 問題は四肢択一か四肢択二です。a b c dの答えのうち、設問に適した答えを（例1）では1つ、（例2）では2つ選び答案用紙にマークして下さい。

（例1）問111 哺乳類はどれか。1つ選べ。 : （例2）問112 哺乳類はどれか。2つ選べ。

- a イヌ
- b タカ
- c ワニ
- d エビ

- a イヌ
- b タカ
- c ネコ
- d エビ

（例1）問111の正答はaであるので、

| 問番号 | 解                                | 答                     | 欄                     |
|-----|----------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 111 | <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

のように(a)を鉛筆で黒く塗りつぶして下さい。

（例2）問112の正答はaとcであるので、

|     |                                  |                       |                                  |                       |
|-----|----------------------------------|-----------------------|----------------------------------|-----------------------|
| 112 | <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> |
|-----|----------------------------------|-----------------------|----------------------------------|-----------------------|

のように(a)と(c)を鉛筆で黒く塗りつぶして下さい。

マークの仕方の悪い例は



- ② （例1）の設問に対し2つ以上解答した場合は誤りとしてします。

（例2）の設問に対し1つまたは3つ以上解答した場合は誤りとしてします。

- ③ この問題Bは問111～問220までで、解答時間は正味2時間30分とします。

- 解答用紙は絶対に折り曲げたり、メモなどで汚したりしないよう特に注意して下さい。
- 配点は各問1点とし、計110点満点とします。

**問111** 下顎骨内面の写真（別冊 No. 1）を別に示す。

矢印に付着するのはどれか。2つ選べ。

- a 顎舌骨筋
- b 舌骨舌筋
- c オトガイ舌筋
- d オトガイ舌骨筋

別冊  
問題 B No. 1 写真

**問112** 組織写真（別冊 No. 2）を別に示す。

矢印で示す構造物を支配する神経はどれか。2つ選べ。

- a 舌下神経
- b 顔面神経
- c 迷走神経
- d 三叉神経

別冊  
問題 B No. 2 写真

**問113** 口腔前庭に存在するのはどれか。2つ選べ。

- a 舌小帯
- b 上唇小帯
- c 切歯乳頭
- d 耳下腺乳頭

**問114** 脂肪酸の代謝について□に入る語句の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

脂肪酸の分解は①により行われ、分解で生じたアセチルCoAは②でエネルギーとなる。

- |   |             |        |
|---|-------------|--------|
|   | ①           | ②      |
| a | $\alpha$ 酸化 | クエン酸回路 |
| b | $\alpha$ 酸化 | 解糖     |
| c | $\beta$ 酸化  | クエン酸回路 |
| d | $\beta$ 酸化  | 解糖     |

**問115** 最も酸化されにくい脂肪酸はどれか。1つ選べ。

- a リノール酸
- b アラキドン酸
- c  $\alpha$ -リノレン酸
- d パルミチン酸

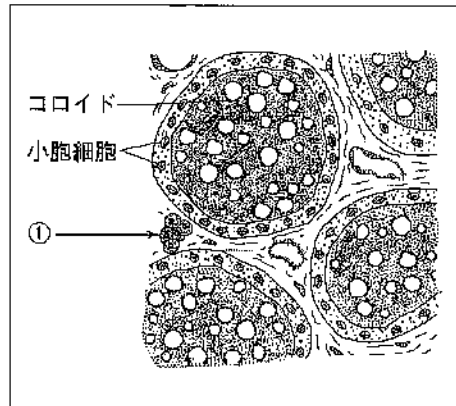
**問116** アクチンフィラメントとミオシンフィラメントの収縮反応に必要なのはどれか。1つ選べ。

- a Kイオン
- b Caイオン
- c Naイオン
- d Mgイオン

**問117** 下顎安静位の維持に関係しているのはどれか。2つ選べ。

- a 開口反射
- b 下顎の重量
- c 下顎張反射
- d 歯根膜咀嚼筋反射

問118 甲状腺の組織構造の模式図を示す。



①から分泌されるのはどれか。1つ選べ。

- a チロキシン
- b パラトルモン
- c カルシトニン
- d 活性型ビタミンD<sub>3</sub>

問119 漏出性出血を引き起こすのはどれか。1つ選べ。

- a 外傷
- b 肺結核
- c 血友病
- d 動脈硬化症

問120 永久細胞はどれか。2つ選べ。

- a 肝細胞
- b 心筋細胞
- c 線維芽細胞
- d 中枢神経細胞

問121 受動免疫に関わるのはどれか。1つ選べ。

- a ワクチン
- b 血清療法
- c 免疫寛容
- d 自己免疫疾患

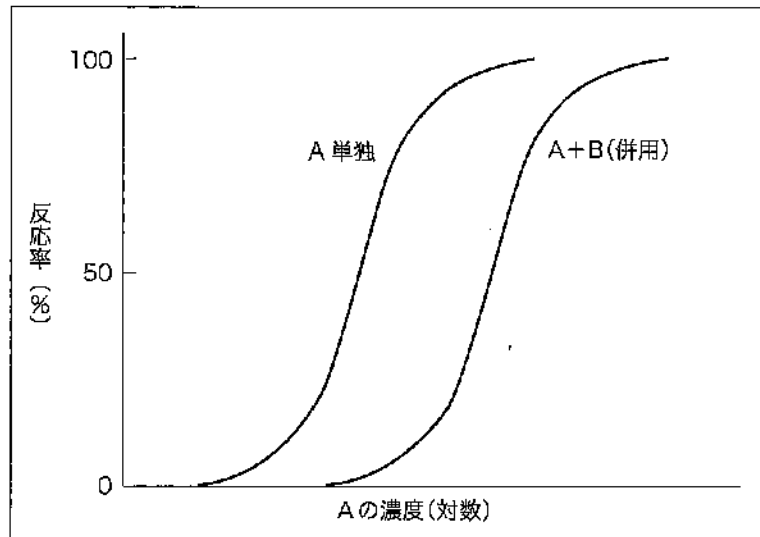
問122 細菌の細胞壁を破壊する抗菌性物質はどれか。1つ選べ。

- a 分泌型IgA
- b リゾチーム
- c デイフェンシン
- d ラクトフェリン

問123 凝集反応を応用しているのはどれか。2つ選べ。

- a ABO式血液型判定
- b ASLO (ASO) 試験
- c Widal (ヴィダール) 反応
- d Wassermann (ワッセルマン) 反応

**問124** 薬物 A の単独適用と薬物 B との併用適用による用量・反応関係を図に示す。



薬物 A と薬物 B との相互作用はどれか。1つ選べ。

- a 相加作用
- b 相乗作用
- c 競合的拮抗
- d 非競合的拮抗

**問125** 口腔領域に現れる副作用と薬物との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 口内炎——ステロイド性抗炎症薬
- b 歯肉増殖——カルシウム拮抗薬
- c 口腔乾燥——副交感神経遮断薬
- d 歯の形成障害——抗悪性腫瘍薬

**問126** 唾液中に含まれる IgA と同じ作用があるのはどれか。1つ選べ。

- a ムチン
- b 重炭酸塩
- c アミラーゼ
- d ペルオキシダーゼ

**問127** 歯肉縁下歯石のカルシウムの由来はどれか。1つ選べ。

- a 食物
- b 唾液
- c 血漿
- d 細菌代謝物

**問128** 歯科疾患実態調査で、毎日歯ブラシを使用する者の推移で1日3回以上磨く者の割合が1日1回磨く者の割合を上回った年はどれか。1つ選べ。

- a 1975 (昭和 50) 年
- b 1987 (昭和 62) 年
- c 1999 (平成 11) 年
- d 2011 (平成 23) 年

問129 6歳児の間食の摂取状況とう蝕の有無について表に示す。

(人)

|    |        | う蝕 |    |
|----|--------|----|----|
|    |        | あり | なし |
| 間食 | 1日2回以上 | 83 | 78 |
|    | 1日1回以下 | 73 | 96 |

間食の回数とう蝕有病者率の関連性を調べる検定方法で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a t検定
- b カイ二乗検定
- c 相関係数の検定
- d Mann-WhitneyのU検定

問130 ある11名の集団(No.1~11)の身長を表に示す。

| No. | 身長 (cm) |
|-----|---------|
| 1   | 149     |
| 2   | 150     |
| 3   | 151     |
| 4   | 153     |
| 5   | 154     |
| 6   | 155     |
| 7   | 155     |
| 8   | 155     |
| 9   | 155     |
| 10  | 158     |
| 11  | 159     |

代表値で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 最大値：149
- b 中央値：154
- c 平均値：155
- d 最頻値：155

問131 9歳の女兒。学校歯科健康診断結果の一部を図に示す。

| 歯列・咬合 | 顎関節 | 歯垢の状態 | 歯肉の状態 | 歯式 |   |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |   | 学校<br>歯科医 |   |  |
|-------|-----|-------|-------|----|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|-----------|---|--|
|       |     |       |       | 所見 |   |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |   |           |   |  |
| ①     | ①   | 0     | ①     | 8  | 7 | 6  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6  | 7 | 8 | CO        |   |  |
| 1     | 1   | ①     | 1     | 上  |   |    | E | D | C | B | A | A | B | C | D | E | 左  |   |   |           | 上 |  |
|       |     |       |       | 下  |   |    | X |   |   |   |   |   |   |   |   | X | 右  |   |   |           | 下 |  |
| 2     | 2   | 2     | 2     | 8  | 7 | 6  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6  | 7 | 8 |           |   |  |
|       |     |       |       |    |   | CO |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | CO |   |   |           |   |  |

事後措置として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 歯石除去をすすめる。
- b 要注意乳歯の存在を指摘する。
- c 下顎第一大臼歯の治療を促す。
- d 側方歯群の交換期であることを説明する。

問132 自然災害の被災地で活動する歯科衛生士の基本的姿勢・留意点で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 行政からの情報に頼らずに活動する。
- b 歯科保健活動は強制的な態度で実施する。
- c 他の支援者・支援機関と情報を共有する。
- d 口腔衛生用品は被災者の口腔状態に配慮して配布する。

問133 WHOの活動はどれか。2つ選べ。

- a 感染症の対策
- b 労働条件の改善
- c 子どもの教育支援
- d 災害時の緊急対策

問134 スクリーニング検査において健常者を陰性と判定する確率はどれか。1つ選べ。

- a 特異度
- b 敏感度
- c 陽性反応適中度
- d 陰性反応適中度

問135 1歳6か月児健康診査でう蝕罹患型がO<sub>2</sub>型と判定された乳児の保護者に対して、まず行う指導内容で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 現状を続けさせるように努力させる。
- b う蝕進行阻止のための処置を勧める。
- c 甘い飲食物の摂取を禁止するように指示する。
- d なるべく6か月以内に再度検査を受けるように指導する。

**問136** 心疾患と脳血管疾患の共通のリスク因子はどれか。1つ選べ。

- a ウイルス感染
- b 食塩過剰摂取
- c 電離放射線被曝
- d 飽和脂肪酸摂取不足

**問137** 特定健康診査・特定保健指導の対象年齢はどれか。1つ選べ。

- a 30歳以上
- b 40歳以上
- c 65歳以上
- d 75歳以上

**問138** ポピュレーションアプローチはどれか。1つ選べ。

- a 高血圧症のスクリーニング
- b 酸取り扱い労働者の歯科検診
- c 歯科衛生士への肝炎ワクチンの接種
- d マスメディアによる禁煙キャンペーンの実施

**問139** 学校保健で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 教諭・養護教諭から保健主事を選任する。
- b 大学に学校歯科医を置かなければならない。
- c 健康診断の対象を生徒および保護者とする。
- d 入学後最初の健康診断を就学時健康診断とする。

**問140** 健康日本21(第2次)で目標値が設定されている疾病はどれか。2つ選べ。

- a 結核
- b 肝疾患
- c 糖尿病
- d COPD

**問141** 医療計画の策定を定めているのはどれか。1つ選べ。

- a 医療法
- b 地域保健法
- c 健康増進法
- d 健康保険法

**問142** コミュニケーションに関する用語の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 傾聴———カウンセリング技法
- b ラポール———説明と同意
- c 行動言語———言語的コミュニケーション
- d 非審判的態度———バイステックの七原則

**問143** 歯科衛生業務記録で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a SOAPとは経過記録方法の方式の1つである。
- b 歯科衛生業務記録は5年間の保管が義務づけられている。
- c 記録すべき項目は歯科衛生士法によって定義されている。
- d 歯科衛生介入によって得られた結果のみを簡潔に記録する。

**問144** 平成30年末の衛生行政報告例における就業歯科衛生士に関する結果について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 年齢階級別では25～29歳が最も多い。
- b 全国の就業歯科衛生士数は約90,000人である。
- c 就業歯科衛生士数は2年前より約7.1%増加している。
- d 就業場所は歯科診療所が最も多く、約80%を占めている。

**問145** 超音波検査について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 画質は鮮明である。
- b 骨疾患の診断に優れる。
- c 操作は比較的簡便である。
- d エックス線による被曝はない。

**問146** う蝕の罹患リスクが高い組合せはどれか。2つ選べ。

- a 喫煙者———下顎前歯
- b 咬耗症患者———前歯切縁
- c 歯周病罹患患者———露出根面
- d 部分床義歯装着者———鉤歯

**問147** 20歳の男性。上顎右側中切歯の審美障害を主訴として来院した。1年前に成形修復による治療を受け問題なかったが、最近気になってきたという。口腔内写真(別冊No.3)を別に示す。

再研磨に用いる器具はどれか。1つ選べ。

- a スタンプバー
- b ホワイトポイント
- c カーボランダムポイント
- d スチールフィッシャーバー

別冊  
問題B No.3写真

**問148** 歯科治療で用いる器具の写真（別冊 No. 4）を別に示す。

根管充填に用いる器具はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊  
問題 B No. 4 写真

**問149** 10歳の女兒。下顎右側第二小白歯頬側歯肉の腫脹を訴えて来院した。

本症例に対して感染根管治療を行った。治療後のエックス線写真（別冊 No. 5）を別に示す。

期待する予後はどれか。1つ選べ。

- a 歯髓の再生
- b 根尖の閉鎖
- c 歯根の完成
- d 象牙質の形成

別冊  
問題 B No. 5 写真

**問150** 根管内器具の写真（別冊 No. 6）を別に示す。

この器具について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 断面が長方形である。
- b リーミングによる操作で切削する。
- c 柄部はカラーコード化されている。
- d ファイリングによる操作で切削する。

別冊  
問題 B No. 6 写真

**問151** 処置と使用する薬剤の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 間接覆髓法——酸化亜鉛ユージノール
- b 歯髓鎮静法——次亜塩素酸ナトリウム
- c 生活歯髓切断法——水酸化カルシウム製剤
- d 象牙質知覚過敏処置——EDTA

**問152** 咬合性外傷について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 歯根膜腔が減少する。
- b 垂直性骨吸収がみられる。
- c プラークの付着が関与する。
- d 結合組織性付着の喪失が起こる。

**問153** フラップ手術について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 超音波スケーラーも使用する。
- b 治癒は結合組織性付着である。
- c 二次切開後に歯肉弁を剝離する。
- d クレーン-カプランのポケットマーカを用いる。

**問154** 根分岐部病変について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 髓床部の副根管が原因の1つである。
- b ルートセパレーションは歯根のみを切断する。
- c ファーケーションプラスティは歯の整形のみ行う。
- d Lindhe & Nyman の2度では組織再生誘導(GTR)法が適応である。

**問155** 78歳の男性。上下の総義歯装着後の調整に来院した。器具の写真(別冊 No. 7) を別に示す。

義歯調整後の仕上げ研磨に用いる器具はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊  
問題 B No. 7 写真

**問156** 76歳の男性。義歯を紛失し、噛めないことを主訴に来院した。上顎は総義歯、下顎は右側大白歯部欠損の部分床義歯を使用していた。初診時の写真(別冊 No. 8) を別に示す。

歯の欠損に伴う変化はどれか。1つ選べ。

- a 口角下垂
- b 鼻唇溝消失
- c 残存歯の沈下
- d 上下顎の顎間距離の延長

別冊  
問題 B No. 8 写真

**問157** ポンティック基底面で自浄性に優れているのはどれか。2つ選べ。

- a 離底型
- b 鞍状型
- c 有床型
- d 船底型

**問158** 歯科用局所麻酔薬に含まれる血管収縮薬の添加目的で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 出血量の増加
- b 麻酔薬使用量の増量
- c 作用持続時間の延長
- d 局所麻酔薬効果の増強

**問159** 疾患と好発部位の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 唾石症——顎下腺
- b 多形腺腫——舌下腺
- c Warthin〈ワルチン〉腫瘍——耳下腺
- d Blandin-Nuhn〈ブランディン・ヌーン〉嚢胞——耳下腺

**問160** 生体モニターの表示画面（別冊 No. 9）を別に示す。

画面上の値 98 が示すのはどれか。1つ選べ。

- a 心拍数
- b 収縮期血圧
- c 拡張期血圧
- d 経皮的動脈血酸素飽和度

別冊  
問題 B No. 9 写真

**問161** 50歳の男性。舌の違和感を主訴に来院した。急速に腫脹してきたという。口腔内写真（別冊 No. 10）を別に示す。

考えられる疾患はどれか。1つ選べ。

- a 舌がん
- b ガマ腫
- c アフタ性潰瘍
- d Hunter〈ハンター〉舌炎

別冊  
問題 B No. 10 写真

**問162** 側面セファロ分析で頭蓋底に位置する計測点はどれか。2つ選べ。

- a N
- b S
- c Or
- d Po

**問163** 装置の写真(別冊 No. 11)を別に示す。

口蓋にある装置の目的はどれか。1つ選べ。

- a 加強固定
- b 舌癖の防止
- c 大白歯の遠心移動
- d 歯列弓の側方拡大

別冊

問題 B No. 11 写真

**問164** 20歳の女性。咬合異常を主訴として来院した。口腔内写真(別冊 No. 12)を別に示す。

正しい所見はどれか。1つ選べ。

- a 空隙歯列である。
- b 上顎犬歯が高位である。
- c 大白歯関係はⅡ級である。
- d オーバージェットはプラスである。

別冊

問題 B No. 12 写真

**問165** 6歳の男児。口腔内写真(別冊 No. 13)を別に示す。

この写真からわかる歯の異常はどれか。1つ選べ。

- a 矮小歯
- b 癒合歯
- c 中心結節
- d タウロドント

別冊

問題 B No. 13 写真

**問166** 乳前歯のコンポジットレジン冠修復に用いる器材はどれか。2つ選べ。

- a 金冠バサミ
- b クラウンフォーム
- c アルジネート印象材
- d ゴードンのプライヤー

**問167** 保隙を目的とした装置について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a リンガルアーチは下顎に使用する。
- b 可撤保隙装置は多数歯の欠損歯列に使用できる。
- c ナンスのホールディングアーチは下顎に使用する。
- d クラウンループは第一大臼歯を支台歯として利用する。

**問168** 介護保険の要介護認定における二次判定に用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a 一次判定結果
- b 主治医の意見書
- c 世帯の収入証明
- d 後期高齢者医療受給者証

**問169** 入院患者に対し各疾患治療に応じた栄養管理を適切に実施し、栄養状態を改善することを目的に多職種から構成される組織はどれか。1つ選べ。

- a NST
- b RST
- c RSST
- d MWST

**問170** 舌の麻痺がある患者に対し水分摂取させる際の対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 水分にトロミをつける。
- b リクライニングさせる。
- c 口唇閉鎖を補助する。
- d 軟口蓋挙上装置 (PLP) を装着させる。

**問171** 5歳の男児。母親が歯の変色を気にして来院した。診察の結果、上顎前歯部唇側面のエナメル質白濁を確認した。患児は知的障害を伴い、治療器具に対して著しい恐怖心を示している。

歯科診療における行動調整で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a TSD法
- b 静脈内鎮静法
- c 笑気吸入鎮静法
- d ハンドオーバーマウス法

**問172** 疾患と障害との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 精神遅滞——知的障害
- b 自閉性障害——構音障害
- c 重症心身障害——摂食障害
- d 注意欠陥/多動性障害——運動機能障害

**問173** 76歳の女性。口腔内写真 (別冊 No. 14) を別に示す。

矢印に示す着色の原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 薬物の服用
- b 外傷による歯の失活
- c 頻回なコーヒーの飲用
- d 先天性ポルフィリン症

別冊  
問題B No. 14写真

**問174** 83歳の女性。認知症があり、介護老人福祉施設に入居中である。重度の歯周病に罹患している。

全身疾患のうち歯周病のリスクファクターとなるのはどれか。2つ選べ。

- a 糖尿病
- b 白血病
- c 骨粗鬆症
- d 誤嚥性肺炎

**問175** プロビング時の写真（別冊 No. 15A）と使用したプローブの写真（別冊 No. 15B）を別に示す。プローブの目盛りの間隔は3-3-3-3 mmである。

測定している部位のポケットデプスはどれか。1つ選べ。

- a 3 mm
- b 5 mm
- c 8 mm
- d 10 mm

別 冊  
問題 B No. 15A, B 写真

**問176** 58歳の女性。基礎データを表に示す。

|  |
|--|
| 患者：58歳、女性  |
| 職業：主婦  |
| 初診日：2020年5月30日   |
| 主 訴：上顎両側臼歯部の歯肉の腫脹とブラッシング時の歯肉出血   |
| 現病歴：1年くらい前から同様の症状を繰り返していたが、歯科は未受診。<br>症状がだんだんひどくなっているようで心配になり受診を決意した。<br>以前歯石除去を受けている際に気分が悪くなったことがあり、歯石除去を受けることに不安があるとのこと。 |
| 既往歴：不整脈（ペースメーカー使用）   |
| 口腔内：口腔内全体に歯肉縁上歯石、歯石縁下歯石あり  |
| 所 見 PD 平均値 4.6 mm<br>PCR 73.2%<br>BOP 82.1%  |

歯科医師より歯石除去を指示された。適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 施術内容などを事前に説明し同意を得る。
- b バイタルサインをチェックしながら施術する。
- c 短時間で歯石除去を行うため超音波スケーラーを使用する。
- d 出血させないように切れ味の鈍い手用スケーラーを使用する。

問177 52歳の女性。初診時の歯周組織検査の結果を図に示す。

|        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 歯周度    |   | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 |   |
| AL     | B | 6 | 4 | 5 | 4 | 5 | 6 | 4 | 5 | 4 | 4 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| PD+BOP | B | ⑤ | ③ | ④ | 4 | ③ | ④ | ⑤ | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 2 |
| AL     | L | ⑥ | ③ | ⑤ | ⑤ | ② | ⑥ | ⑤ | ② | ④ | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 |
| 部位     |   | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |   |
| AL     | L | 6 | 5 | 7 | 7 | 8 | 6 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 |
| PD+BOP | L | ⑤ | ④ | ⑥ | ⑥ | ④ | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| AL     | B | ④ | 3 | ④ | ⑥ | 3 | ④ | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 2 | 3 |
| 歯周度    |   | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |   |   |   |

検査結果からわかるのはどれか。2つ選べ。

- a 根分岐部病変をもつ歯がある。
- b 歯肉退縮を生じている部位がある。
- c 垂直方向に動揺する歯が存在する。
- d 大白歯部は全体的に BOP (+) である。

問178 35歳の女性。コーヒー常飲による歯面の着色除去を主訴として来院した。口腔診査結果(別冊 No. 16)を別に示す。

初回の処置として適切なのはどれか。1つ選べ。

- a スケーリング直後に歯面清掃器を使用する。
- b 上顎右側臼歯部頬側より歯面清掃器を使用する。
- c 上顎右側臼歯部頬側のスケーリングをキュレットスケーラーで行う。
- d 下顎前歯部舌側のスケーリングをシックルタイプスケーラーで行う。

別冊  
問題 B No. 16 図

問179 44歳の男性。47の歯の頬側近心の歯肉縁下歯石をグレーシーキュレットスケーラーで除去することになった。

使用するスケーラーはどれか。1つ選べ。

- a # 11
- b # 12
- c # 13
- d # 14

問180 直線型カーブドシックルタイプスケーラーと臼歯部用グレーシーキュレットスケーラーのシャープニング時の共通点はどれか。1つ選べ。

- a 先端のシャープニングを行う。
- b 把柄部を床面と垂直にしてスケーラーを固定する。
- c 刃部内面を床面と平行にしてスケーラーを固定する。
- d 刃部内面と砥石のなす角度は90°になるよう砥石を合わせる。

問181 47歳の女性。24年間、1日25本以上の喫煙習慣があり、歯面の着色を主訴として来院した。

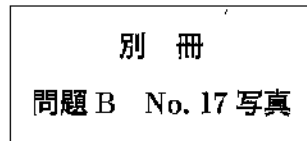
施術について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a デンタルフロスを用いて研磨する。
- b 歯面研磨後のフッ化物塗布は不要である。
- c ラバーカップは一か所に押し当てて使用する。
- d 歯面研磨剤はフッ化物が含まれているものを選択する。

**問182** 20歳の女性。定期健康診査のため来院し、う蝕活動性試験を実施した。Dentocult®-LBの結果の写真（別冊 No. 17）を別に示す。

この患者に対する適切な説明はどれか。2つ選べ。

- a 細菌数が多く、高いう蝕のリスクが疑われます。
- b 唾液緩衝能が低く、高いう蝕のリスクが疑われます。
- c 未処置う窩や不適合補綴装置・充填物の存在が疑われます。
- d 潜血反応が認められ、歯肉に炎症が生じている可能性が疑われます。



**問183** 7歳の女児。う蝕予防のため来院した。学校歯科健康診断における口腔内診査の結果を図に示す。

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 上 | 右 | E | D | C | B | A | A | B | C | D | E | 左 | 下 |
|   |   | ○ | \ | \ | \ |   |   | \ | \ | \ | ○ |   |   |
| 下 | 右 | E | D | C | B | A | A | B | C | D | E | 左 | 下 |
|   |   | ○ | \ |   |   | A | A | B | C | \ | ○ |   |   |
| 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

適切な処置はどれか。2つ選べ。

- a フッ化物歯面塗布
- b 第二乳臼歯の成形修復
- c 第一乳臼歯の小窩裂溝填塞
- d 第一大臼歯の小窩裂溝填塞

**問184** 32歳の女性。上下前歯部の着色が気になるとの主訴で来院した。喫煙による着色であったため、歯面清掃器を使用し除去するように歯科医師より指示された。

歯面清掃器使用時の注意事項はどれか。2つ選べ。

- a ノズルと歯面の間隔は1 cm 離す。
- b 切縁側から歯肉側に向けて噴射する。
- c ナトリウム摂取制限の有無について質問する。
- d 術後2～3時間は着色作用の強い食物摂取は控える。

**問185** 4歳の男児。体重19 kg。う蝕予防のためにフッ化物歯面塗布を希望して母親とともに来院した。フッ化物は第2法に調製されたリン酸酸性フッ化ナトリウムゼリーを用いることにした。

この患児が誤飲して悪心・嘔吐が生じる可能性のあるゼリー量はどれか。1つ選べ。

- a 3.2 mL
- b 3.7 mL
- c 4.2 mL
- d 4.7 mL

**問186** 2%フッ化ナトリウム溶液2 mLを用いてフッ化物歯面塗布を行った。口腔内に残留する可能性のあるフッ素量はどれか。1つ選べ。

- a 0.018～0.036 mg
- b 0.18～0.36 mg
- c 1.8～3.6 mg
- d 18～36 mg

**問187** 6歳の男児。う蝕はない。下顎第一大臼歯咬合面の小窩裂溝填塞法を行った。填塞後の歯科衛生士と母親との会話を示す。

下線部分の説明で適切なのはどれか。2つ選べ。

歯科衛生士：むし歯予防のために、奥歯の溝を物理的に封鎖しました。

① 生えて間もない歯、そして奥歯はむし歯になりやすいのですよ。

母親：生えている途中の歯でも行えるのですか。

歯科衛生士：② はい、できます。

母親：もし、とれてしまった場合はどうすればいいですか。

歯科衛生士：③ 次の来院までよく様子を見て下さい。

母親：次回はいつ来院すればいいですか。

歯科衛生士：④ 1年を目安にお越し下さい。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

**問188** 医療面接について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 情報収集は開かれた質問で進める。
- b 問診は事前記入の質問紙で代用できる。
- c カウンセリングは行動変容を意図するものである。
- d インタラクティブなコミュニケーションが必要である。

**問189** 健康日本21（第2次）で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 健康増進については地域的な健康目標が設定されている。
- b 歯・口腔の健康目標では新たに口腔機能の維持・向上の目標が設定された。
- c 平成25（2013）年から平成29（2017）年度までの5年間を活動期間としている。
- d NCD（非感染性疾患）の予防としてがん、循環器疾患、糖尿病、COPDに対する包括的な対策が重視されている。

**問190** 通所介護施設で歯科衛生士と介護職員が協働で口腔機能向上サービスを実施することになった。対象者は要介護1の高齢者男女12名で、週1回40分のプログラムを3か月間行う予定である。

この場合の実施例として正しい手順はどれか。1つ選べ。

- a 課題決定 → 計画書の作成 → アセスメント → 実施 → モニタリング → 再評価
- b 計画書の作成 → アセスメント → 課題決定 → 実施 → 再評価 → モニタリング
- c モニタリング → アセスメント → 実施 → 計画書の作成 → 再評価 → 課題決定
- d アセスメント → 課題決定 → 計画書の作成 → 実施 → モニタリング → 再評価

**問191** 糖アルコールについて正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 甘味度は100程度である。
- b 水に溶けると吸熱反応を起こす。
- c 不溶性グルカンの基質にならない。
- d ショ糖と同程度のエネルギー値をもつ。

**問192** 身長170 cm、体重75 kgの人のBMIの算出式として正しいのはどれか。1つ選べ。

- a  $75 \div (1.7 \times 1.7)$
- b  $75 \times 0.9 \div 1.7$
- c  $(75 \times 75) \div 170$
- d  $(170 - 100) \times 0.9 \times 1.7$

**問193** 85歳の男性。以前と比べて固いものが噛みにくくなったと訴え来院した。特に痛みはないという。口腔内写真(別冊 No. 18)を別に示す。

観察できるのはどれか。2つ選べ。

- a 咬耗
- b 骨隆起
- c 歯根破折
- d くさび状欠損

別冊  
問題 B No. 18 写真

**問194** 82歳の女性。介護老人保健施設に入所している。上顎前歯部はブリッジ、下顎は総義歯を装着している。歯磨きは一部介助で歯ブラシのみを使用している。介助者から磨き残しのある前歯部に対して歯ブラシ以外の口腔清掃用具の相談を受けた。口腔内写真(別冊 No. 19 A)と口腔清掃用具の写真(別冊 No. 19 B)を別に示す。

この女性に適切な口腔清掃用具はどれか。2つ選べ。

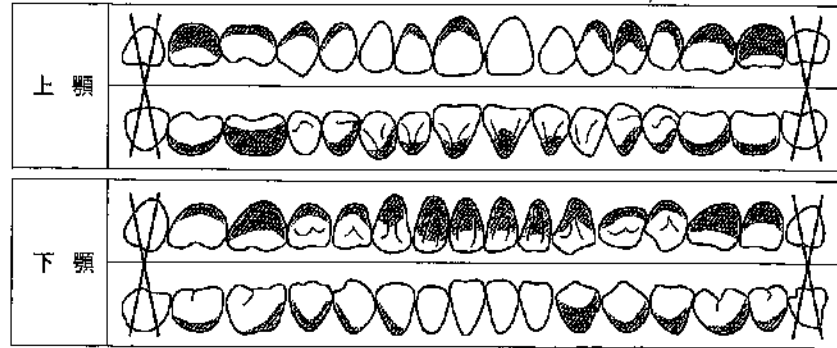
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊  
問題 B No. 19 A, B 写真

**問195** 小学校1年生35名のクラスで食育指導を依頼された。歯科衛生士の講話として適切なテーマはどれか。2つ選べ。

- a 朝ごはんの大切さ
- b 好き嫌いをなくそう
- c 塩分の摂取量を知ろう
- d スポーツ飲料摂取のすすめ

問196 プラークの付着状況を図に示す。



PHP の評価基準で上顎右側臼歯部の点数はどれか。1つ選べ。

- a 2
- b 3
- c 4
- d 5

問197 経鼻経管栄養法の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 手術が必要である。
- b 嚥下訓練を妨げない。
- c 自己抜去のリスクが高い。
- d 手技が広く普及している。

問198 60歳の女性。乾燥による舌の痛みを訴え来院した。口腔内写真（別冊 No. 20）を別に示す。

この患者から洗口液の使用について質問があった。適切な対応はどれか。

1つ選べ。

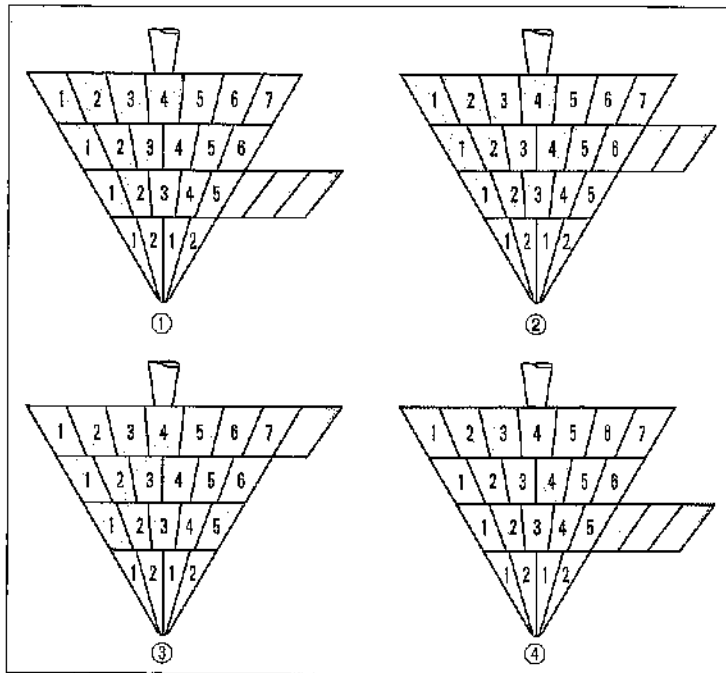
- a 洗口液使用後は水で洗口することをすすめた。
- b 舌ブラシに洗口液を含ませ舌清掃を行うようすすめた。
- c 溶剤のエタノールが配合されていないものをすすめた。
- d 唾液分泌を促すために刺激の強い香味剤配合の製品をすすめた。

別冊  
問題 B No. 20 写真

問199 40歳の男性。ある1日の食事の記録を表に示す。

|    | 食べたもの    | 主食         | 主菜         | 副菜         | 牛乳・乳製品     | 果物     |
|----|----------|------------|------------|------------|------------|--------|
| 朝食 | おにぎり 2個  | 2          |            |            |            |        |
|    | 具だくさん味噌汁 |            |            | 1          |            |        |
| 昼食 | カツ丼 1杯   | 2          | 3          | 1          |            |        |
| 夕食 | 鶏のから揚げ   |            | 3          |            |            |        |
|    | ポテトフライ   |            |            | 1          |            |        |
| 間食 | 焼き鳥      |            | 2          |            |            |        |
|    | ジュース 1本  |            |            |            |            |        |
|    | 合計       | 4<br>つ(SV) | 8<br>つ(SV) | 3<br>つ(SV) | 0<br>つ(SV) | 0<br>つ |

この食事の記録を示した食事バランスガイドはどれか。1つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

問200 ビタミンについて正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ビタミンCは暗順応に関与する。
- b 活性型ビタミンD<sub>3</sub>は小腸で合成される。
- c ビタミンKは腸内細菌により合成される。
- d ビタミンCはコラーゲンの生合成に関与する。

問201 離乳の支援についてのポイントを表に示す。

- ①離乳食は1日3回。母乳やミルクは離乳食の後に与える。
- ②歯ぐきでつぶせる固さのものを与える。
- ③鉄欠乏に注意する。

支援時期はどれか。1つ選べ。

- a 離乳開始前
- b 離乳初期（開始1か月後）
- c 離乳後期（生後9か月頃）
- d 離乳完了期

問202 青年期における摂食障害について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 無月経を起こす。
- b 男性に多くみられる。
- c 咽頭期障害が原因で起こる。
- d 過食症では口蓋側のエナメル質が酸蝕されることがある。

**問203** 一般に加齢により上昇・増加するのはどれか。1つ選べ。

- a 骨密度
- b 基礎代謝量
- c 収縮期血圧
- d 唾液分泌量

**問204** 83歳の男性。脳出血で入院中である。口腔内のアセスメントを行った結果、得られた問題点は以下のとおりである。

【問題点】1. 食後、口腔前庭に食物残渣が多量に停滞している。  
2. 流涎がみられる。

問題の原因と考えられる因子はどれか。2つ選べ。

- a 唾液分泌量の低下
- b 口唇の閉鎖力の低下
- c 手指の運動機能の低下
- d 口腔周囲筋の運動不全

**問205** 60歳の女性。手に障害をもっている。食事、口腔ケア、整容など多職種で連携した支援を行うこととなった。自助機能のある箸の写真(別冊 No. 21)を別に示す。

この箸の必要性を検討しこの女性に提案・使用法の指導を行う職種はどれか。1つ選べ。

- a PT
- b ST
- c OT
- d SW

別冊  
問題 B No. 21 写真

**問206** 5歳の女兒。歯の痛みを主訴として母親と一緒に来院した。何度か来院した経験があり、母親に甘えることなく歯科治療を受けることができる。

この患児への対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 母親も一緒に診療室に誘導する。
- b チェアへは自分で上がってもらう
- c ハンドオーバーマウス法が有効である。
- d できるだけ前回と同じチェアに誘導する。

**問207** 器具の写真（別冊 No. 22）を別に示す。

線屈曲に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別 冊  
問題 B No. 22 写真

**問208** 12歳の女子。下顎左側第一大臼歯に器具を装着することになった。  
装着する器具の写真（別冊 No. 23A）と装着しているところの写真  
（別冊 No. 23B）を別に示す。

使用している器具はどれか。2つ選べ。

- a バンド
- b ブラケット
- c バンドシーター
- d バンドプッシャー

別 冊  
問題 B No. 23A, B 写真

**問209** 口腔内写真撮影時の注意点はどれか。1つ選べ。

- a 口角鉤は乾燥させて使用する。
- b 口腔内撮影用ミラーは冷やしてから使用する。
- c 咬頭嵌合位で正面観と左右の側方面観を撮影する。
- d 側方の撮影は大白歯がファインダーの画面中央になるようにする。

**問210** 器具の写真（別冊 No. 24）を別に示す。

用途で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a バンドの撤去
- b バンド膨隆部の調整
- c 太いワイヤーの屈曲
- d エラスティックの把持

別 冊  
問題 B No. 24 写真

**問211** 小児歯科治療の使用器具を写真（別冊 No. 25）に示す。

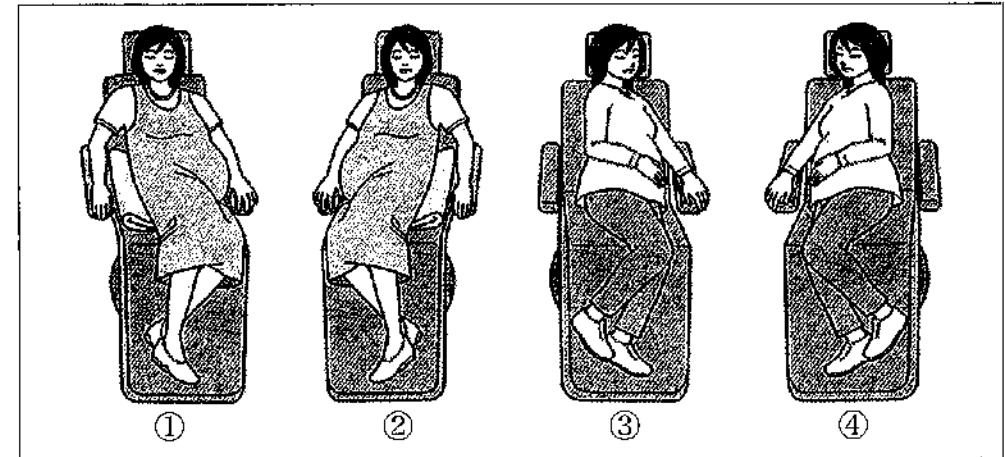
器具と処置法との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①——イオン導入法
- b ②——歯面清掃
- c ③——開口維持
- d ④——乳歯冠咬合适合

別 冊  
問題 B No. 25 写真

**問212** 28歳の女性。妊娠8か月である。歯肉の腫脹を主訴に来院した。スケーリングを行うために口腔内診査を行うことになった。

この患者の体勢を図に示す。



適切なのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

**問213** 79歳の男性。脳梗塞により右側に麻痺があり、食塊形成が困難である。認知症もあるため、複雑な指示はよく理解できない。姿勢の保持ができないので食事も困難である。

この場合の対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 食事の前に筋刺激訓練法を行う。
- b 足底を床につけて座るよう指導する。
- c 右側から食事介助するよう説明する。
- d 反復唾液嚥下テストで嚥下機能を評価する。

**問214** 高齢者の摂食嚥下機能障害に対する間接訓練はどれか。2つ選べ。

- a 嚥下体操
- b 食物形態の調節
- c アイスマッサージ
- d 手と口の協調訓練

**問215** 障害者歯科診療で応用される行動変容法でないのはどれか。1つ選べ。

- a 精神鎮静法
- b モデリング法
- c シェイピング法
- d トークンエコノミー法

**問216** 障害者の歯科治療で行う精神鎮静法はどれか。2つ選べ。

- a 全身麻酔法
- b 静脈内鎮静法
- c タイムアウト法
- d 笑気吸入鎮静法

**問217** 21|12 の二等分法エックス線写真撮影を行うことになった。準備として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a フィルムの保持は拇指で行う。
- b 頭部の固定は口角－耳珠線を床面と水平にする。
- c 中心線（主線）はフィルムに対して垂直に設定する。
- d フィルムは 21|12 の切縁より 3～5 mm 出して位置づける。

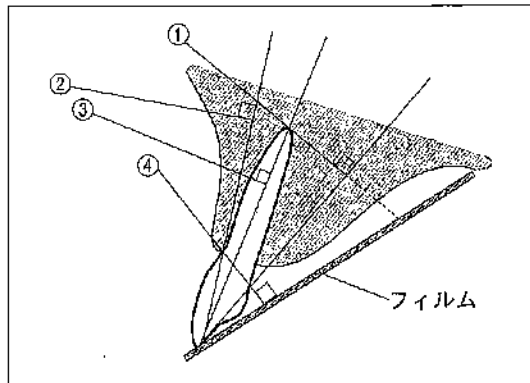
**問218** 撮影に失敗したエックス線写真（別冊 No. 26）を別に示す。

失敗の原因はどれか。1つ選べ。

- a フィルムの彎曲
- b 照射時間の過剰
- c 水平的角度不良
- d コーンの位置づけ不良

別 冊  
問題 B No. 26 写真

問219 上顎切歯部のエックス線撮影の模式図を示す。



二等分法の照射角度で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

問220 38歳の女性。上顎左側第二小白歯のセラミックスによる審美修復を希望して来院した。2回目の来院時に製作した修復物を装着することになった。修復物の写真(別冊 No. 27)を別に示す。

患者への説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 辺縁の適合性がありますので外れにくいです。
- b 色素の濃い食品でも着色や変色はしづらいです。
- c 十分な強度がありますので硬い食べ物を噛んでも問題ありません。
- d 摩耗しにくい素材ですので普段通りにブラッシングを行って下さい。

別冊  
問題B No. 27 写真

写真 No. 1

(問 111)

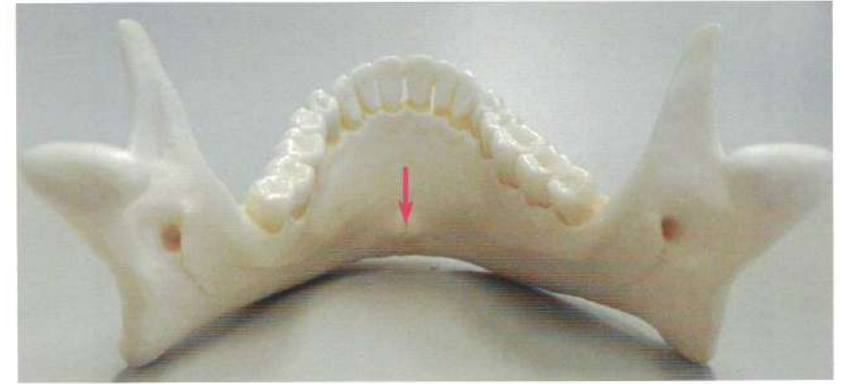


写真 No. 2

(問 112)

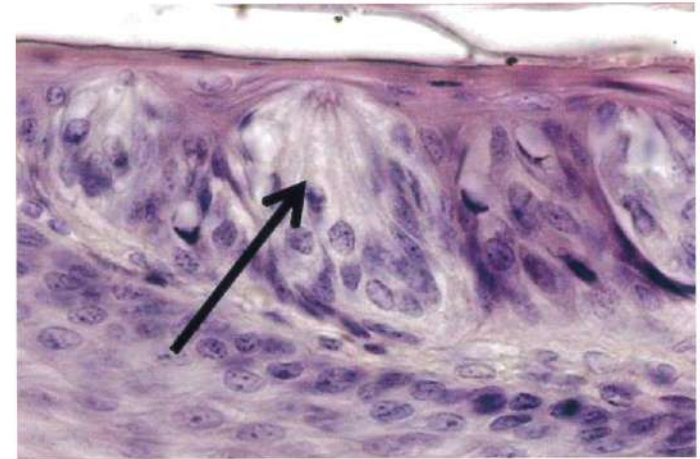


写真 No. 3 (問 147)



写真 No. 4 (問 148)



- ① ② ③ ④

写真 No. 5 (問 149)



写真 No. 6 (問 150)

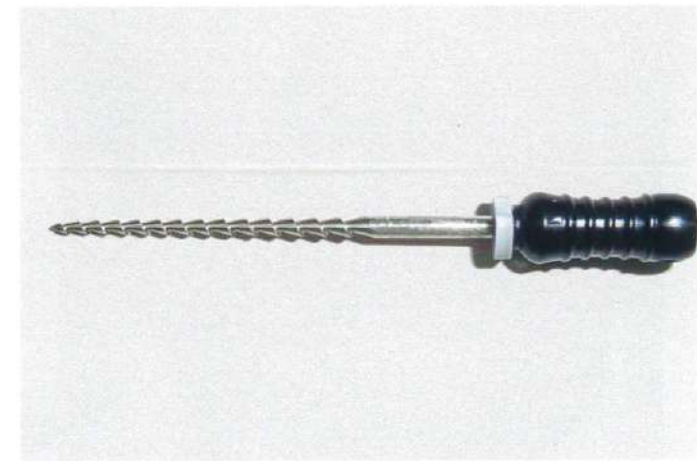


写真 No. 7 (問 155)

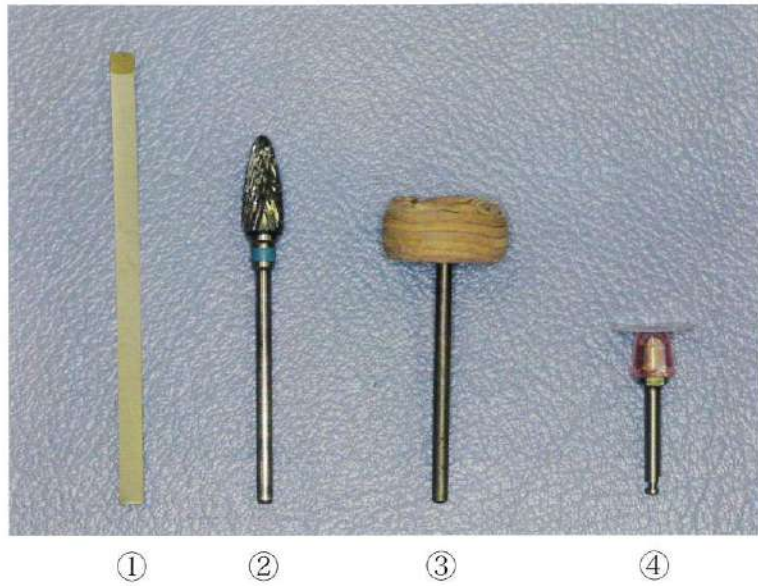


写真 No. 8 (問 156)

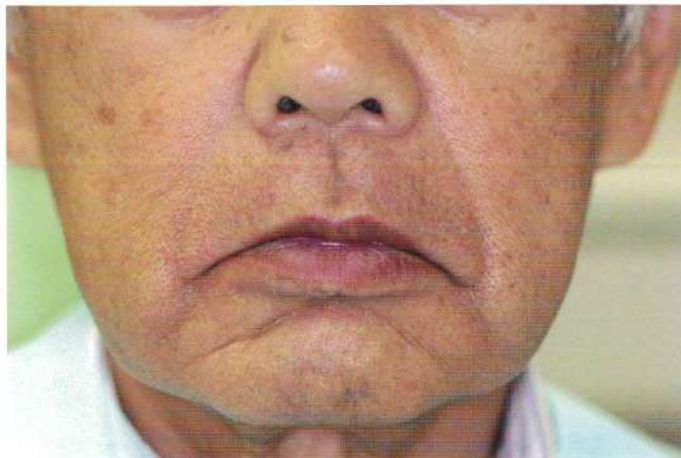


写真 No. 9 (問 160)



写真 No. 10 (問 161)



写真 No. 11 (問 163)

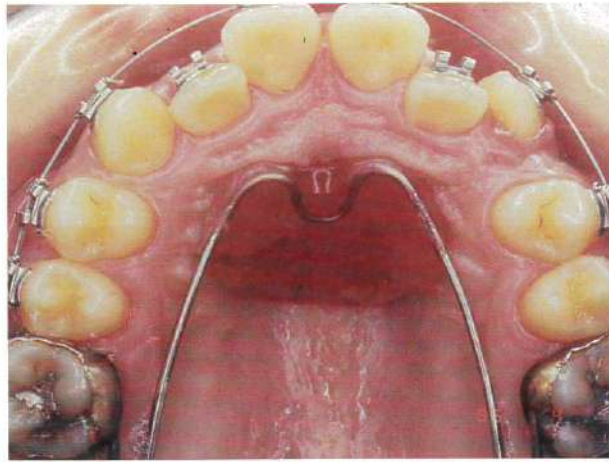


写真 No. 12 (問 164)



写真 No. 13 (問 165)



写真 No. 14 (問 173)



写真 No. 15

(問 175)



A



B

写真 No. 17 (問 182)



図 No. 16

(問 178)

口腔診査結果

○=着色 ○=出血

|    |      |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|----|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 上顎 | PD   | 頬側 | 543 | 432 | 433 | 323 | 212 | 212 | 222 | 323 | 212 | 222 | 323 | 322 | 212 | 222 |
|    |      | 舌側 | 443 | 444 | 433 | 333 | 212 | 222 | 223 | 323 | 322 | 222 | 324 | 323 | 223 | 323 |
|    | 歯石沈着 | 頬側 | 3   | 2   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2   | 2   |
|    |      | 舌側 | 1   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   |
|    | 補綴物  |    | FMC | FMC | In  | N   | Ⓝ   | Ⓝ   | N   | Ⓝ   | Ⓝ   | Ⓝ   | In  | In  | FMC | N   |
| 歯種 |      |    | 7   | 6   | 5   | 4   | 3   | 2   | 1   | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   |
| 下顎 | 補綴物  |    | N   | CR  | N   | N   | Ⓝ   | Ⓝ   | Ⓝ   | Ⓝ   | Ⓝ   | Ⓝ   | N   | CR  | CR  | In  |
|    | 歯石沈着 | 舌側 | 3   | 2   | 0   | 0   | 0   | 1   | 1   | 1   | 0   | 0   | 0   | 1   | 2   | 3   |
|    |      | 頬側 | 2   | 2   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 1   |
|    | PD   | 舌側 | 434 | 333 | 332 | 323 | 222 | 212 | 212 | 211 | 111 | 212 | 323 | 323 | 333 | 332 |
|    |      | 頬側 | 433 | 433 | 322 | 322 | 212 | 211 | 111 | 211 | 111 | 212 | 212 | 222 | 223 | 333 |

写真 No. 18

(問 193)



写真 No. 19 (問 194)

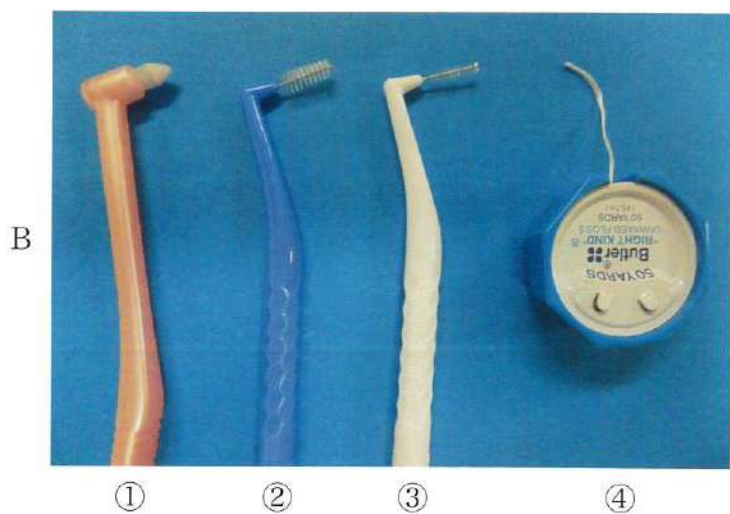


写真 No. 20 (問 198)

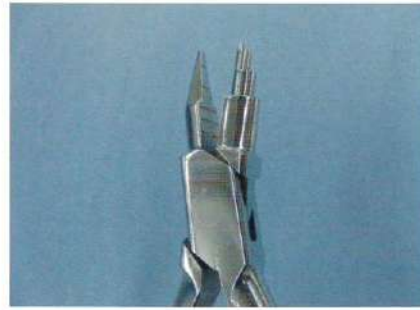


写真 No. 21 (問 205)



写真 No. 22

(問 207)



①



②



③



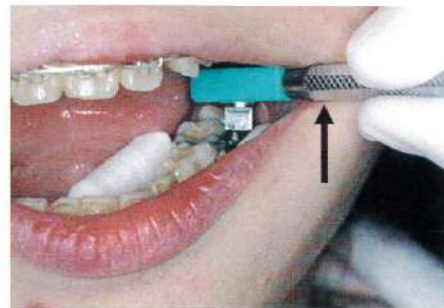
④

写真 No. 23

(問 208)



A



B

写真 No. 24

(問 210)

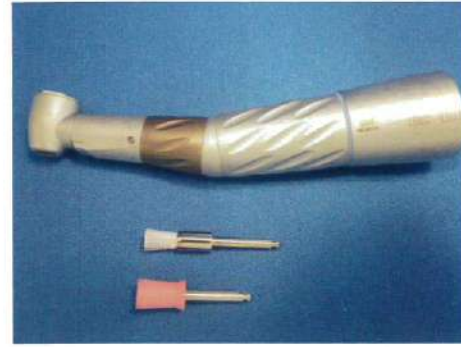


写真 No. 25

(問 211)



①



②



③



④

写真 No. 26

(問 218)

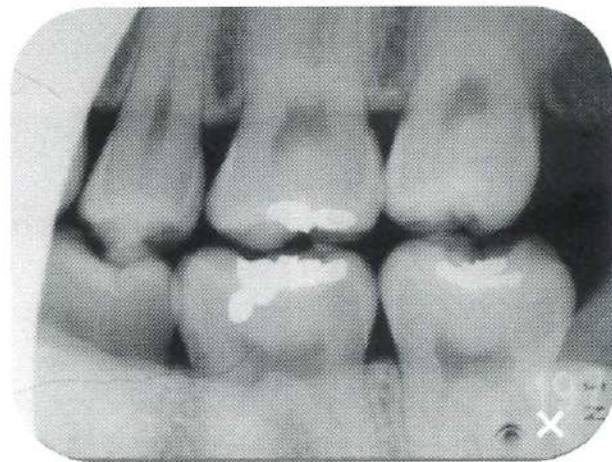


写真 No. 27

(問 220)

